

銀行名	佐賀銀行
タイトル	公益財団法人佐賀県地域産業支援センターとの連携・協力に関する包括連携協定について（地域活性化の取組み）
	<p>【動機（経緯）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当行は地域経済の活性化の取組として、各自治体や大学、外部機関等との連携を強化している。 ・佐賀県内企業の振興に寄与する事業を推進、地域経済の発展を図ることを目的として、平成 26 年 10 月に公益財団法人佐賀県地域産業支援センターと「連携・協力に関する包括連携協定」を締結。 <p>【連携・取組み内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> （1）販路開拓・取引拡大に関すること <ul style="list-style-type: none"> ・県内外の取引拡大を目指す企業間の商談会開催支援等 （2）研究開発の促進に関すること <ul style="list-style-type: none"> ・大学、公設試験研究機関が有する優れた研究シーズと、県内企業が有する優れた研究ニーズをマッチング支援等 （3）経営革新、経営基盤の強化に関すること <ul style="list-style-type: none"> ・起業を目指す方、経営革新に積極的な企業、ベンチャー企業等への支援 （4）6次産業化の促進に関すること <ul style="list-style-type: none"> ・県内1次産業者への6次化に関わる支援、融資相談、ファンド活用等 （5）海外展開の促進に関すること <ul style="list-style-type: none"> ・海外展開を模索する県内企業への支援等 （6）知的財産の活用促進に関すること <ul style="list-style-type: none"> ・県内企業の特許、商標等の知的財産に関する課題への支援等 <div style="text-align: center;"> <p>（主な支援策）</p> <p>販路拡大支援（商談会開催） 経営改善計画策定アドバイス・実行支援 6次産業化への支援 海外展開支援</p> <p>佐賀県内産業の振興に寄与する事業を推進、地域経済の発展を図る</p> </div> <p>【お取引先にとっての効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成 27 年 3 月、発注企業と佐賀県内の機械金属受注企業が一堂に会する「佐賀県受発注商談会」を共催し、製造業者の支援に取り組んだ。（参加受注企業 35 社） ・現在、大手企業が保有する休眠特許と佐賀県企業とのマッチングを目的とした「知財ビジネスマッチング」を 12 月共催に向け協議を行い、佐賀県内の機械金属製造業者の新たな事業への取組を支援していく。

銀行名	佐賀銀行
タイトル	関係機関協働による地場企業の海外展開支援について
取組み内容	<p>【経緯】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・H23年8月に佐賀県、佐賀県商工会議所連合会と「国際取引支援協働連携に関する覚書」を締結し、以後、セミナー、商談会など「産・官・金」協働で様々な海外展開支援を行ってきた。 ・平成24年12月には、佐賀県、佐賀県商工会議所連合会、佐賀県工業連合会、佐賀大学等とともに、海外展開に関心を持つ県内の製造業27社を会員とした「ものづくりアジア研究会」（現在は、ものづくりグローバル研究会に改称）を立ち上げ、現在も活動中。 ・県内の食品関連企業からも食品輸出に向けた情報提供等の支援活動を望む声が多く寄せられ、海外展開に関心を持つ食品関連企業の海外の販路開拓・拡大を支援するため、「食品グローバル研究会」を組成。 <p>【取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成27年5月、佐賀県、佐賀市、佐賀県商工会議所連合会、JETRO等とともに、会員35社（現在の会員数は47社）からなる「食品グローバル研究会」を立ち上げた。 ・主な活動予定は以下の通り <ul style="list-style-type: none"> 勉強会の開催 組成間もないが、定期的に（ほぼ隔月）開催。食品輸出の基礎についてのレクチャー、食品企業が海外への販路拡大に成功した事例紹介、グループディスカッションを中心に開催。 協働支援する機関の企画するイベントへの参加 地域産品・製品の商談会やバイヤー招聘商談会などに「食品グローバル研究会」事務局がサポートし、実際経験することにより知識・ノウハウを蓄積・向上を目指す。 海外商談会・展示会への商談・視察ミッション派遣検討・計画 市場別、商品別セミナーの開催 支援事業周知のためのWEB活用 数多く且つタイムリーな情報提供のために、事務局で情報を集約しWEBによる定期的情報提供（月1回程度）。 <p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加企業の海外展開に関する状況、ニーズ、要望などの情報が収集でき、海外ニーズの掘り起こしを図ることができ、特に企業の抱える問題点の解決のための支援は、取引先との一層深耕が期待できる。 ・本研究会が媒介となり、参加企業同士のマッチングが容易に行うことができることから、既に数社が共同開発などの検討を行っている。

銀行名	佐賀銀行
タイトル	地域密着型金融の取組み推進 ～お取引先現場での実地研修等による行員の目利き力養成～
取組み内容	<p>当行は、コンサルティング機能の発揮を目的として、行員向けに定期的にお取引先の協力を得て事業現場における実地研修等を行っています。</p> <p>そのひとつとして、お取引先の工場等の事業現場を見学させていただく行員向け休日セミナーを継続して取組んでいます。このセミナーでは、財務資料等のみを以って企業を理解するのではなく、実際の現場を拝見する中で見えてくる様々な工夫点や技術力などを踏まえた将来性にも目を向けることで、行員の目利き能力向上を目的としています。</p> <p>このセミナーは平成 23 年 1 月より開始以降半年ごとに実施しており、現在では 10 回（10 社様）の開催に及んでいます。1 回あたりの参加人数は 30～40 名程度と限定的にはなりますが、日頃接していない製造部門等の企業担当者から説明を受けることなどを通して、お取引先に対する理解を深める機会となっています。</p> <p>また、お取引先の協力の下で、「企業コンサルティング研修」を毎年 1 回の頻度で実施しています。この研修では行員が対象企業の経営状況や経営環境等を様々に調査・分析することで、企業実態を把握する力や経営課題に対する解決策の提案能力の向上を養成しています。具体的には、期間を 5 ヶ月程度設けて、対象先企業の店舗等現場の視察、顧客動線調査、顧客アンケート調査、市場環境調査、従業員意識調査、組織運営態勢並びに財務状況等を行員がチームとして実施し、最終的に企業診断報告書の形式でお取引先へ提案するという実技形式の研修としています。この研修は、昭和 56 年度から平成 27 年度まで累計 34 回を重ね、当行では歴史ある研修のひとつとなっております。</p> <p>以上のような研修については、お取引先の事業性を適切に評価できる人材育成のために今後も継続していく予定です。</p>